

令和7年度 建設外部評価委員会

社会資本総合整備計画

* 社会資本整備総合交付金

* 防災・安全交付金

公園部整備課



社会資本整備総合交付金

- ① 民間活力を活用した都市公園の再整備（重点）
- ② 地域ニーズに即した都市公園ストックの再編
- ③ 安全・安心や環境に配慮した公園整備等の推進



③ 安全・安心や環境に配慮した公園整備等の推進

- * 緑の基本計画での位置づけ
- * 整備計画の内容
- * 交付対象事業
- * 事業の概要
- * 事業効果の発現状況、目標値の達成状況
- * 特記事項



緑の基本計画での位置づけ

① 展開されるゾーン

- ▶みどりのゾーン ～いのちをまもり育む緑～
- ▶まちのゾーン ～彩りと潤いのある緑～
- ▶田園のゾーン ～実り豊かな緑～
- ▶ゾーンのつながり ～水と緑のネットワーク～
- ▶協働と参画 ～みんなで支える緑～

緑の基本計画での位置づけ

② 施策の展開と取り組み

● みどりのゾーン

方針▶六甲山系など都市の骨格となる緑を保全・育成・活用し、
市民の暮らしや自然環境、美しい景観を守る

取り組み▶森林保全・育成の強化

- ▶自然災害から人とまちを守る森づくり
- ▶森林レクリエーション施設の充実

緑の基本計画での位置づけ

② 施策の展開と取り組み

● まちのゾーン

方針▶緑の資産を適切に維持管理・更新し、利活用を促進することで
安全で快適な空間をつくる

取り組み▶時代のニーズに対応した公園施設等のリニューアルと適切な保全
▶公園等の安全性の向上とバリアフリー化
▶シンボルとなる公園の魅力向上
▶街路樹による風格あるまちなみづくりや心地よい木陰の確保

緑の基本計画での位置づけ

② 施策の展開と取り組み

● 田園のゾーン

方針▶田園コミュニティの拠点の創出や里づくりにより、
農村と都市との交流を促進する

取り組み▶田園地域におけるコミュニティ拠点の整備促進

▶個性豊かな緑の里づくりの推進

▶里山や不耕作地を活用した交流の促進

緑の基本計画での位置づけ

② 施策の展開と取り組み

● ゾーンをつながり

方針▶みどり・まち・田園をつなぐ水と緑のネットワークを形成する

取り組み▶水と緑のネットワークの形成

整備計画の内容

- 計画の期間

- ▶ 令和2年度～令和6年度(5年間)

- 交付対象

- ▶ 神戸市

整備計画の内容

● 計画の目標

- ▶ グリーンインフラ事業として、市内4つの水系地区において、雨水幹線への負荷軽減のための公園施設や緑地を整備すると共に、水と緑のネットワーク形成を推進する環境形成を推進する環境形成帯を整備する。
- ▶ 花と緑を活用した緑化・飾花により魅力あふれる都市空間の形成や、地域住民の交流・スポーツ・レクリエーションの拠点となる公園を整備し、コミュニティ形成の活性化を行う。
- ▶ 「六甲山森林整備戦略」に基づく六甲山等の緑地の保全・育成事業を進めることで、土砂災害等に対する街の防災性の向上を図る。

整備計画の内容

計画の成果目標(定量的指標)

● 雨水幹線への負荷軽減

- ▶ 公園施設や緑地等の整備をすることで雨水流出量を
0.43立方メートル毎秒 (m³/s) (R2当初)
⇒ 0.34立方メートル毎秒 (m³/s) (R6末)にする。

● 魅力あふれる都市空間の形成

- ▶ 表六甲水系地区において、花と緑を活用した緑化・飾花により、
魅力あふれる都市空間とすることで歩行者交通量を10%増加させる。

整備計画の内容

計画の成果目標(定量的指標)

● コミュニティ形成の活性化

▶ 地域住民の交流・スポーツレクリエーションの拠点となる公園を整備し開園後の公園で開催された地域イベントの件数を計る。

- | | |
|-------------------|------------|
| ・ 加古川水系地区(山田町公園) | R6末までに1件/年 |
| ・ 明石川水系地区(押部谷町公園) | R3末までに3件/年 |
| ・ 武庫川水系地区(道場町公園) | R6末までに2件/年 |

交付対象事業

A 基幹事業

- A-1 グリーンインフラ事業※（表六甲水系）
- A-2 グリーンインフラ事業（加古川水系）
- A-3 グリーンインフラ事業（明石川系）
- A-4 緑地保全等事業（六甲近郊緑地保全区域）
- A-5 緑地保全等事業（西須磨特別緑地保全地区）
- A-6 緑地保全等事業（一里山町特別緑地保全地区）
- A-7 グリーンインフラ事業（武庫川水系）

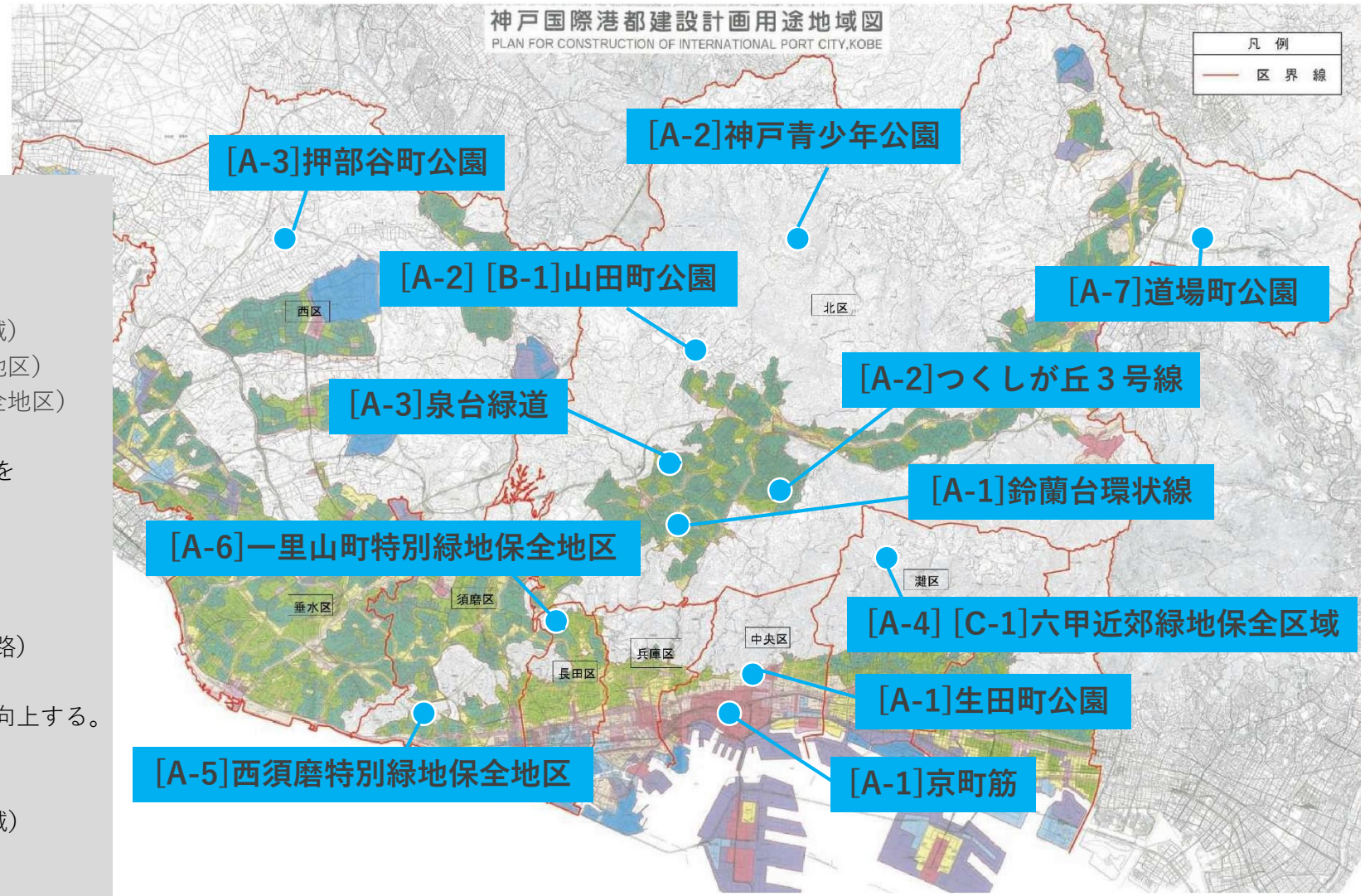
※グリーンインフラ活用型都市構築支援事業を
グリーンインフラ事業と記載

B 関連社会資本整備事業

- B-1 GI事業
（加古川水系地区・山田町公園接続道路）
- ※A-2と一体的に整備することにより、
事業の円滑な進捗と公園利用者の利便性が向上する。

C 効果促進事業

- C-1 緑地保全等事業（六甲近郊緑地保全区域）
- ※A-4の調査を行うことにより、
森林の適切な保全や育成を図る。



※正式名称はグリーンインフラ活用型都市構築支援事業

事業の概要

内容	事業実施期間	全体事業費	備考
[A-1]グリーンインフラ活用型都市構築支援事業(表六甲水系地区)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 植栽帯再整備 ・ 施設整備等(生田町公園他) 	R4～6年度	33百万円	
[A-2]グリーンインフラ活用型都市構築支援事業(加古川水系地区)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 植栽帯再整備 ・ 施設整備等(山田町公園他) 	R4～6年度	60百万円	山田町公園は令和6年度より防災・安全交付金へ移行
[A-3]グリーンインフラ活用型都市構築支援事業(明石川水系地区)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 植栽帯再整備 ・ 施設整備等(押部谷町公園他) 	R2～3年度	55百万円	<押部谷町公園> 事業全体はH29～R2。343百万円

事業の概要

内容	事業実施期間	全体事業費	備考
[A-4]緑地保全等事業(六甲近郊緑地保全区域)			
・ 緑地保全利用施設の整備(散策路等)	R3～4,6年度	15百万円	
[A-5]緑地保全等事業(西須磨特別緑地保全地区)			
・ 特別緑地保全地区の用地取得	R5～6年度	37百万円	
[A-6]緑地保全等事業(一里山町特別緑地保全地区)			
・ 特別緑地保全地区の用地取得	R2～3年度	30百万円	
[A-7]グリーンインフラ活用型都市構築支援事業(武庫川水系地区)			
・ 植栽帯再整備 ・ 施設整備等(道場町公園)	R3年度	46百万円	<道場町公園>事業全体はH30～R3。89百万円

事業の概要

内容	事業実施期間	全体事業費	備考
[B-1]グリーンインフラ活用型都市構築支援事業(加古川水系地区・山田町公園接続道路)			
・山田町公園へのアクセス道路の整備	R4年度	11百万円	
[C-1]緑地保全等事業(六甲近郊緑地保全区域)			
・六甲近郊緑地保全区域の調査	R2～6年度	40百万円	

各事業の概要

【A-1】グリーンインフラ活用型都市構築支援事業(表六甲水系地区)

● 整備箇所

▶京町筋

● 対象面積

▶419 m²

● 整備内容

▶植栽帯再整備

● 整備状況

▶自然を感じる新たな植栽手法である「Naturalistic Landscaping」を用いて、植栽帯の再整備を行い、魅力あふれる都市空間となった。

各事業の概要

【A-1】グリーンインフラ活用型都市構築支援事業(表六甲水系地区)



▶再整備前 | 京町筋



▶再整備後 | 京町筋

各事業の概要

【A-3】グリーンインフラ活用型都市構築支援事業(明石川水系地区)

● 整備箇所

- ▶ 押部谷町公園

● 工期

- ▶ 平成29年度～令和2年度

● 整備内容

- ▶ 公園整備

● 整備状況

- ▶ 雨水幹線への負荷軽減のため公園内に雨水貯留槽を整備すると共に、地域住民の交流・スポーツレクリエーションの拠点となる公園を整備した。

各事業の概要

【A-3】グリーンインフラ活用型都市構築支援事業(明石川水系地区)



▶雨水貯留槽設置 | 押部谷町公園



▶公園整備後 | 押部谷町公園

各事業の概要

【A-4】緑地保全等事業(六甲近郊緑地保全区域)

● 整備区域

- ▶六甲近郊緑地保全区域

● 工期

- ▶令和3～4,6年度

● 整備内容

- ▶ハイキング道再整備

● 整備状況

- ▶既存のハイキング道の再整備を進めることにより、市街地に近接したハイキング道の安全性や利便性の向上を図ることができた。

各事業の概要

【A-4】緑地保全等事業(六甲近郊緑地保全区域)



▶再整備前 | 上野道デッキ



▶再整備後 | 上野道デッキ

事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

｜グリーンインフラ事業

- ▶市内4つの水系地区において、公園施設や緑地を整備することで雨水幹線への負荷を軽減し、水と緑のネットワークを形成を推進する環境形成帯を整備することができた。
- ▶花と緑を活用した緑化・飾花により魅力あふれる都市空間の形成や、地域住民の交流・スポーツレクリエーションの拠点となる公園を整備し、コミュニティ形成の活性化を行うことができた。

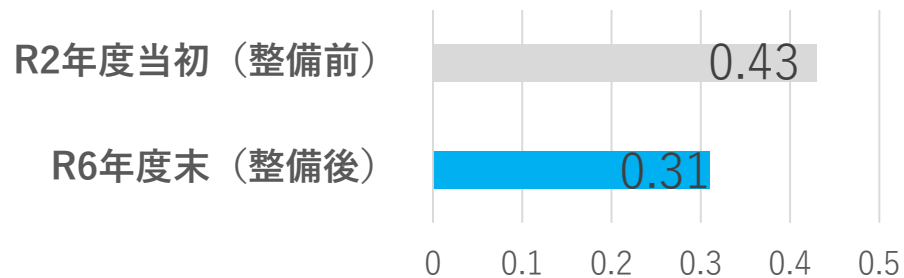
事業効果の発現状況、目標値の達成状況

II 定量的指標の達成状況 | グリーンインフラ事業

- ▶公園施設や緑地等の整備により、雨水流出量を減少させることができた。

0.43立方メートル毎秒 (m³/s)

⇒ 0.31立方メートル毎秒 (m³/s)



- ▶雨水流出量抑制の主な整備内容

雨水貯留槽の整備 | 植栽帯の再整備

透水性舗装の整備 | ウッドチップ舗装の整備 等

- ▶ウッドチップ舗装 | 神戸青少年公園



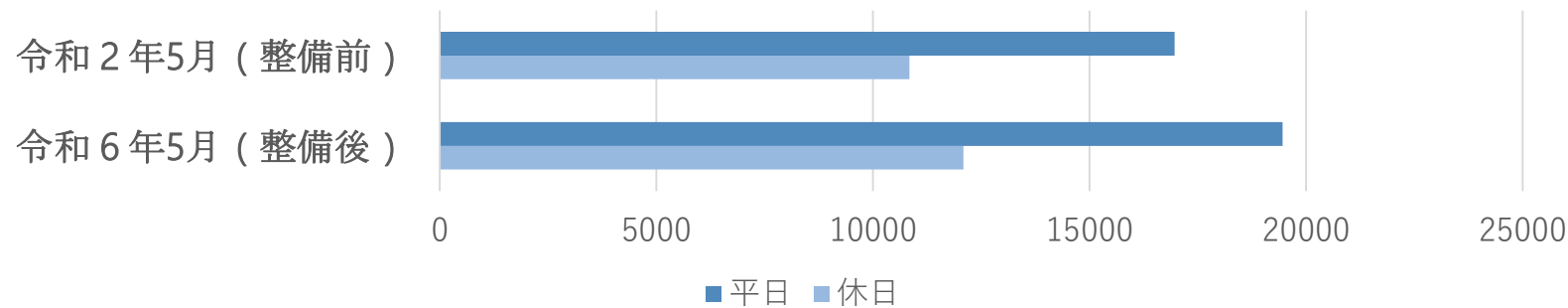
事業効果の発現状況、目標値の達成状況

II 定量的指標の達成状況 | グリーンインフラ事業

● 表六甲水系地区

▶京町筋において、花と緑を活用した緑化・飾花を行い、魅力あふれる都市空間
することで、整備前と比較して歩行者交通量が13.4%増加した。

(整備前の歩行者交通量27,804人 → 整備後の歩行者交通量31,543人)



【利用者数の調査方法】 ※再整備前後共通
 調査日 : 平日、休日 各1日ずつ
 時間帯 : 7時~19時
 調査方法 : KDDI Location Analyzerによる人流データを利用

事業効果の発現状況、目標値の達成状況

II 定量的指標の達成状況 | グリーンインフラ事業

● 加古川水系地区

- ▶山田町公園の再整備は完了していないが、公園整備にあたり地域でのプレイベントの件数がR5年度に1件、R6年度に2件と目標である1件/年を達成した。

● 明石川水系地区

- ▶押部谷町公園は令和2年度に完成したが、コロナ禍のため地域イベントの実施できず目標であるR3末までの地域イベント件数を3件/年を達成できなかった。

● 武庫川水系地区

- ▶道場町公園を整備したことで、地域イベント（地域の祭りやグランドゴルフ大会等）の件数がR5年度に13件、R6年度に14件と目標であるR6末まで2件/年という目標を達成することができた。

事業効果の発現状況、目標値の達成状況

II 定量的指標の達成状況 | グリーンインフラ事業



▶ プレイベントの様子 | 山田町公園

地元の方々に、山田町公園をどんな公園にしたいか意見を集めたり、プレイベントの中で移動図書館の実施を行った。

事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況

｜グリーンインフラ事業

- ▶花と緑を活用した緑化・飾花を行い、魅力あふれる都市空間とすることで整備前と比較して歩行者交通量の増加に加え、歩いて楽しい空間を創ることができた。
- ▶地域住民の交流・スポーツレクリエーションの拠点となる公園を整備しコミュニティ形成の活性化を行うことができた。

事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

【A-4】緑地保全等事業（六甲近郊緑地保全区域）

- ▶老朽化したハイキング道を計画的に整備することにより、ハイキング道の安全性及び利便性を向上することができた。

II 定量的指標の達成状況 | 【A-4】緑地保全等事業（六甲近郊緑地保全区域）

- ▶ハイキング道の再整備距離が2,111mとなり、目標値の2,000mを上回った。

年度	工事名	延長(m)
R3	青谷道階段補修、上野道デッキ更新工事	663
R4	鍋蓋北道階段改修工事その2、摩耶自然観察園改修工事 他	1,098
R6	魚屋道階段設置工事、紅葉谷道橋補強等工事 他	350
	合計	2,111

事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況

｜【A-4】緑地保全等事業(六甲近郊緑地保全区域)

- ▶古くなった案内板を更新したことで、登山道をわかりやすく表示するとともに、景観にも配慮することができた。



特記事項

- ▶グリーンインフラについては、雨水貯留槽や透水性舗装の整備など、引き続き雨水流出の抑制に努めていく。
- ▶緑地保全等事業については、安全・安心に資する緑地の保全を進めるとともに、森林レクリエーションに資するハイキング道の再整備等を実施していく。